

I アカミアリ

【国内における確認状況】

- ・平成 29 年 7 月 14 日、東京都の青海ふ頭で発見された
- ・国内では、沖縄本島、南鳥島、伊江島、兵庫県、愛知県、大阪府でも見つかっている。

【生態：生息地など】

- ・営巣できる土壌のある、裸地や草地等の開けた場所に生息する
- ・食性は雑食性で、甘露、草の種子のほか、小型節足動物も捕食する。

【形態：大きさや特徴】

- ・体長 3～5mm（体長とは足の長さは除く、頭部の先から腹部の先までの長さ。）。
- ・体色は赤褐色で頭部は褐色のアリ。働きアリは多型を示す。

【原産地】

- ・アメリカ合衆国南部から中米。



アカミアリの^{ゆうしめす}有翅雌（新女王）



[starr-070221-4739-plant-Euphorbia-hirta-leaves-and-fruit-with-Solenop](https://www.flickr.com/photos/starr-070221-4739-plant-Euphorbia-hirta-leaves-and-fruit-with-Solenopsis-geminata-Lahaina/)

[sis-geminata-Lahaina](https://www.flickr.com/photos/starr-070221-4739-plant-Euphorbia-hirta-leaves-and-fruit-with-Solenopsis-geminata-Lahaina/) By Forest and Kim Starr

健康被害の具体例



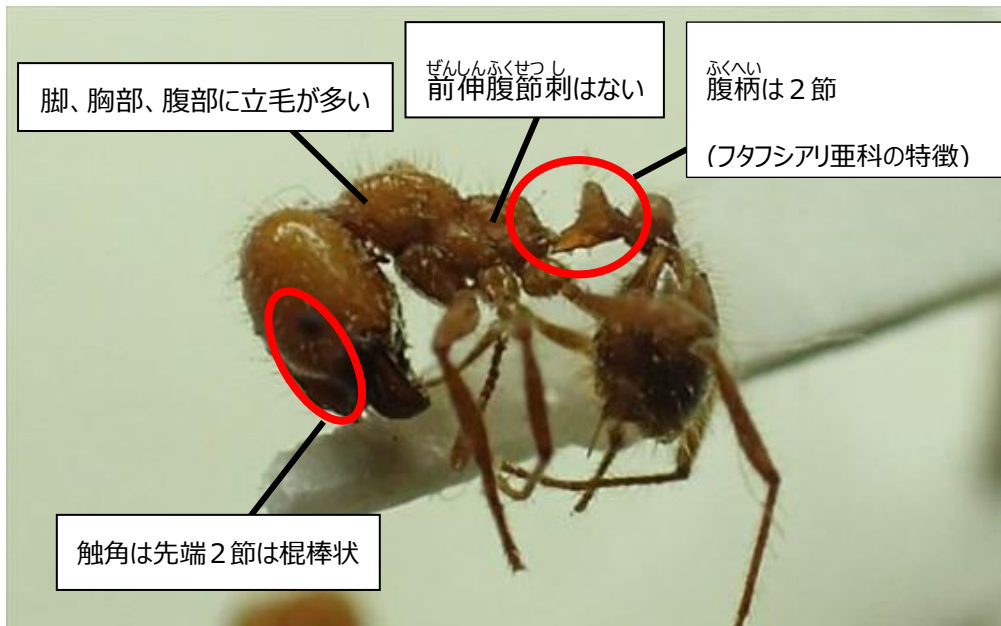
- ・刺されると、アルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、^{すいほうじょう}水疱状に腫れる。
- ・毒に対するアレルギー反応（アナフィラキシーショック）を引き起こす場合があり、北米だけでも年間で 1500 件（本種を含めた“fire ant”全体の件数）近く起こっている。
- ・1996 年に沖縄島の基地において、本種に刺された米軍兵が強度のアナフィラキシーショックを引き起こした例が知られている。

被害を受けた場合の対処法

- ・医療機関を受診

特徴・間違えやすい類似種との識別点

【アカカミアリの特徴】



【類似種】



在来類似種例 アズマオオズアリ

【アカカミアリの巣】



寺山守氏提供

駆除方法

- ・殺虫剤（スプレーでも良いが、液剤が望ましい）を散布する。
- ・熱湯をかける。

ベイト剤（毒餌）の使用における留意点について

- ・ベイト剤（毒餌）の安易な使用は、ヒアリの定着等を阻害してくれる在来アリなども区別なく駆除することになり、かえってヒアリ等の定着につながる恐れがあります。
- ・ヒアリがこれまで発見されていない地域では、まずは誘引剤を含むトラップを設置し（誘引剤を使うと1日以内の設置でよい）、ヒアリが発見された場合にのみベイト剤を用いて防除することを推奨します。
- ・ベイト剤の使用にあたっては、事前に専門家に相談するなど、適切に使用してください。

被害の予防について

健康被害を防ぐため、日常生活においては以下のようなことにご注意ください。

<被害が起きやすい状況>

- ・農作業、庭の手入れや家庭菜園など屋外での作業。
- ・野外においてあるサンダル等の靴を履く。

<予防策>

- ・野外での作業時にはプラスチック製の手袋を着用する等、肌を露出しない。
- ・アリが体をのぼりにくくするために、ベビーパウダーを靴やズボンに振り掛けておく。
- ・サンダル等を外に置きっぱなしにしない。

<ヒアリやアカカミアリのようなアリを見つけたら>

- ・生きた個体を手で触らない。
- ・地元の自治体に連絡する。



危険な外来生物 Web サイトへ

この資料についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都環境局 自然環境部計画課 / TEL 03-5388-3548 FAX 03-5388-1379

[3]

このページの内容の一部は、Flicker 等が提供しているコンテンツを利用しており、クリエイティブ・コモンズの表示ライセンスに記載の条件に従って使用しています。

本サイト上の文書や画像等に関する諸権利は東京都に帰属します。本サイト上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。

Copyright©2016 Bureau of Environment.TMG. All Rights Reserved.